

つて只今すべてを一わたり見ることは困難に候へ共、目今蒐集文書中漢文のものゝ目録及び解説の製作に從事致し居られ候デ・ヤイルス氏と懇意に相成り候結果、それゞゞ觀覽の便宜を得申し候。同博物館にては目今漢文を読み候人は同氏一人の由に候へば全部の解説を終了する迄には少からぬ日子を要し候ことゝ存じ候。回鶻文のものは大英博物館より印度省圖書館に移したりとのことに、同省にトーマス博士を訪ひて觀覽を乞ひ候處、當圖書館には受領せず、やはり博物館にある筈と往復文書を出して證明せられ候につき、更に博物館の東洋部長バーネット氏に交渉致し候處確に印度省に廻した筈なれど尙搜索して見るべしとのことにて今尙要領を得ず、隨分大まかな次第にて、呑氣な英吉利氣質の一端を遺憾なく發揮致し居る様に覺え候。尤も回鶻文を讀む人は當地には少き由に候へば、自然かゝる結果にも立ち至り候ことかと存候。但しスタン氏蒐集文書中の重なる回鶻文書は幸に東洋學院長デニソン、ロス氏が曾て寫眞して所有致し居られ、その全部を擧げて貸しきれられ候につき大急にて只今其の復寫に從事致し居り候。此の中、阿毗達磨俱舍論實義疏とて、悉地羅末提、即ち安惠の作にかゝるもの一卷有之候。これは傳説に従へば世親の俱舍論につきて泉賢の駁したもの更に安惠が辨駁せんとして作れるものゝ由に候へ共、原本も漢譯も今日に傳はらざる由、木村君より承り候。果して然らば俱舍の研究者にとりては甚だ貴重の資料と存じ候。ロス氏は直に翻譯にかかりくれと申され候へ共、座右にメモランダムと参考書とを持たず、また可成多くの資料を觀覽若しくは寫取致したきとの希望を有し居り候小生には、此の事業に没頭致し候譯にも參らず、ともかく分る丈けの翻譯を試み候一方に、寫眞を急ぎ卷一百四十九枚は本日漸く出來仕り候。此の他先年小生譯出致し候天地八陽神咒經を初め諸種の佛典及び證書類のものも追々寫眞致すことに致し申候。